

埼発障協第132-2号
平成24年1月26日

各 位

埼玉県発達障害福祉協会
会 長 長 岡 均

平成23年度実践交流会の開催について (通知)

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
このたび、標記研修会を別添開催要領のとおり、開催することいたしました。
つきましては、御多忙のところ誠に恐縮に存じますが、開催趣旨を御理解いただき、貴施設職員への周知及び参加について、御配慮くださるよう宜しくお願い申し上げます。
なお、下記事項に御留意の上、お申込みくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 日 平成24年3月1日 (木) 9:25~17:00
- 2 会 場 彩の国すこやかプラザ 2階研修室ほか
さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 電話048-822-1191
※別添会場地図参照
- 3 申込方法 別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、下記までお申し込みください。
定員を超えた場合は調整をさせていただく場合があります。
なお、2月24日 (金) までに事務局より連絡がない場合は、ご参加いただけます。
- 4 申込期限 2月17日 (金)
- 5 問合せ先 埼玉県発達障害福祉協会 事務局 (担当 川口)
埼玉県社会福祉協議会施設業務課内
さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 電話048-822-1191

埼玉県発達障害福祉協会
平成23年度 実践交流会 開催要領

- 1 目的 本研修は、施設職員の利用者への支援力や実践力の向上を図ることを目的に開催します。様々な課題を持つ利用者への日々の試行錯誤の実践報告をもとに、その取り組みについてグループ討議を行います。
- 2 期日 平成24年3月1日(木) 9:00研修室前にて受付開始
- 3 会場 彩の国さいたますこやかプラザ2階 研修室1・2・3
- 4 対象者 埼玉県内知的障害児者施設等の職員、その他障害福祉関係職員
- 5 定員 60名(申込多数の場合は、事務局にて調整させていただきます。)

6 日程及び内容

9:00	9:25	9:40	10:40	10:50	12:20	13:10	14:10	14:20	15:30	16:20	16:30
受付	開会	レポート 報告 ①②	休憩	レポート 報告 ③④⑤	昼食 休憩	レポート 報告 ⑥⑦	休憩	グループ 討議	全体会 発表 総括	閉会	レポート 作成

【コメンテーター・総括】

埼玉県発達障害福祉協会 副会長 内田富士夫 氏

【レポート報告】

別紙ご参照ください。

※本年度は、7つのレポート発表を全て聴講し、その後、グループに分かれて討議を行います。別紙レポート報告一覧より、グループ討議の希望を選び、参加申込書に発表番号を記入願います。なお、ご希望のグループに入れるように考慮いたしますが、多数の場合にはご希望に添えないこともございますので、あらかじめご了承ください。

- 7 参加費 埼玉県発達障害福祉協会 会員 1,000 円
// 非会員 2,000 円
(受付時に納入していただきます。)

8 参加申込について

参加申込用紙に必要事項を記入の上、2月17日(金)必着で本会事務局まで送付ください。参加決定の連絡はいたしません。2月24日(金)までに事務局より連絡がない場合はご参加いただけます。

9 その他 ・昼食は本会が用意します。

・駐車場は利用できません。参加者は公共交通機関をご利用ください。

10 申込先 埼玉県発達障害福祉協会 事務局 担当：川口

〒330-8529 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
TEL 048-822-1191 FAX 048-822-3078

埼玉県発達障害福祉協会

平成23年度 実践交流会

参加申込書

月 日申込

埼玉県発達障害福祉協会会長 様

施設種別 _____

施設名 _____

県発障協 (会員・非会員) どちらかに○ _____

担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

氏名	職名	経験年数 (年 ヶ月)	グループ討議	
			第1希望発表番号	第2希望発表番号
		年 ヶ月	希望	希望
		年 ヶ月	希望	希望
		年 ヶ月	希望	希望

*別紙レポート報告一覧より、参加したいグループ討議の希望を選び、発表番号を第2希望までご記入ください。ただし、希望のグループに入れるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。

*経験年数は平成24年2月現在でご記入ください。

お申込みは、2月17日(金)までにお願いたします。(FAX可)

本会のFAX番号と酷似した個人宅のFAXに、本会あての文書が届くというトラブルが頻発しています。お手数をおかけいたしますが、FAXを送る際は必ず番号をお確かめの上お送りくださるようお願いいたします。

FAX 048-822-3078

埼玉県発達障害福祉協会事務局 (担当:川口あて)

参加申込書の記載事項は、当会で出席や受講等の情報管理を行うこと、研修当日に配付する資料に参加者名簿として作成し配付すること以外の目的には使用いたしません。

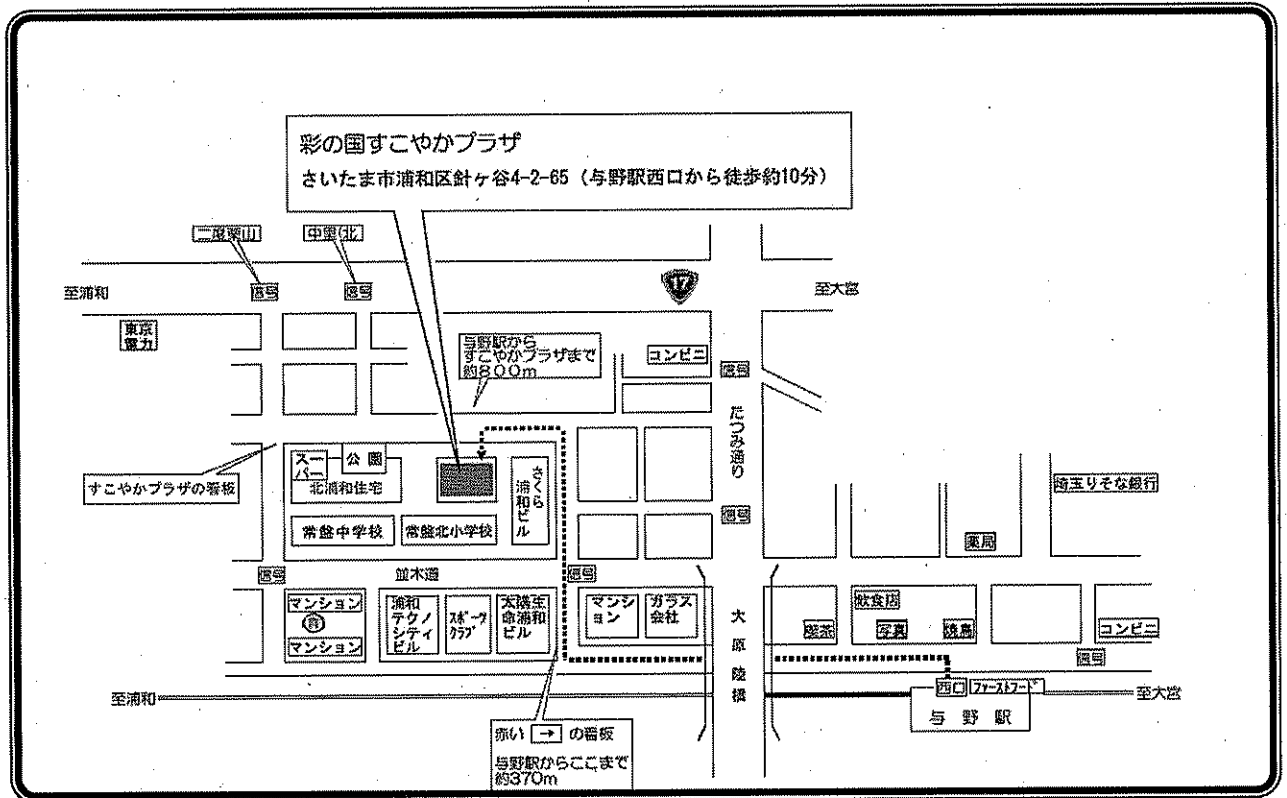
埼玉県発達障害福祉協会

平成23年度 実践交流会

《平成24年3月1日(木) 9:25~17:00》

【会場案内図】

彩の国すこやかプラザ (JR「与野」駅西口より徒歩10分)



レポート報告一覧（発表 25 分、質疑応答 5 分）

発表番号	テーマ	発表の概要	所属・報告者
①	「あすなる学園での保護者支援（子育て支援）」について	あすなる学園では、長い間「母子通園」を柱として、保護者支援の実践を積み重ねてきている。障害幼児への発達支援と共に、学園として重要な位置づけの「母子通園」での支援は、実際、保護者にどう受け止められてきたのか？ 保護者文集での「保護者の言葉（文章）」を手掛かりに分析する。その中で、通園施設における母子通園や子育て支援の意義を検討したい。	「戸田福祉社会」 あすなる学園 島崎 利行 氏
②	「〇〇さんの眼を守るために・・・」	〇〇さんの自傷行為による失明を止める為に行った支援について発表。	「美里会」 みさと本景 根岸 大輔 氏
③	「給食課の取り組みについて」	利用者の状態に応じた特別給食の対応、また郷土料理、リクエスト献立など楽しく美味しい食事の工夫についての発表。	「共愛会」 久保田 恵美 氏
④	「こだわりの強い自閉症のAさんへの処遇について」	平成20年4月1日利用開始。【療育手帳A・区分6】 明るく活発である。自傷・他傷がある。こだわりが強く、おしっこ取め、まき散らし、盗食、送迎車からの飛び出しなどもある。興味・関心により突発的な行動に出る。力が強いので女性職員等は目的達成のために簡単に突き飛ばされる。集団活動をするうえでの社会性をいかに身に付けるかが課題。	「つゆくさ」 わーくほーむ江南 緒方 義憲 氏
⑤	「地域移行へ向けた関係機関の連携について」	家庭での養育が困難な状況の利用者を当施設で受け入れ、学校卒業後、再び地域へ戻れるように関係機関と連携している取り組みについて発表。	「毛呂病院光の家」 光の家療育センター 小林 俊之 氏
⑥	「触法障害者の地域移行について」	触法障害者が入所施設からケアホームへ移った事例について発表。 2	「啓和会」 久喜けいわ 小林 昇平 氏
⑦	「対応の難しい利用者への支援について」	特定の人（職員）へのこだわりが強く、なかなか人との関わりを広げることが難しい利用者への支援、また、送迎時や外出先でのトラブルへの対応。大変な状況にある家庭へのアプローチについて発表。	「所沢市 社会福祉協議会」 所沢市立プロバラ 小内 正秋 氏